

カナミックネットワーク 事業概要とビジネスモデル

2025年5月21日 証券コード：3939

株式会社カナミックネットワーク

1. 会社概要・事業概要とビジネスモデル



1-1.カナミックグループ概要



証券コード：3939

商号

株式会社 カナミックネットワーク

設立

2000年（平成12年）10月20日

資本金

3億2,412万円（内資本準備金1億3,206万円）

上場取引所

東京証券取引所プライム市場（証券コード：3939）

事業所

東京本社、北海道営業所、名古屋営業所、大阪営業所、広島営業所、福岡営業所、沖縄営業所

主な事業

医療・介護・子育て分野におけるクラウドサービス提供事業
医療・介護・子育て分野におけるプラットフォームサービス事業

グループ会社



< 康納美克（大连）科技有限公司 >
ソフトウェア開発（Webシステム、AI / IoT、アプリ）



< 株式会社アーバンフィット >
24時間営業のフィットネスジム及びフランチャイズ運営



< 株式会社Ruby開発 >
Ruby言語を活かしたソフトウェア開発



< The World Management Pte. Ltd. >
シンガポールのITコンサルティング企業

グループ従業員数

369名（2024年12月末現在）

1-2.社長紹介



代表取締役社長

やまもと たくま

山本 拓真



社会人大学院 非常勤講師

1978年生まれ、京都府京都市出身

2000年 大学卒業後、株式会社富士通システムソリューションズ（現富士通株式会社）に入社
インターネットの事業部にて、自社プロダクトの企画開発や大規模受託開発などを経験

2005年 株式会社カナミックネットワーク 入社 取締役 就任

2011年～ 東京大学高齢社会総合研究機構 共同研究員

2012年～ 国立がん研究センター 外来研究員

2014年 株式会社カナミックネットワーク 代表取締役社長 就任（現任）

2016年 東証マザーズ上場

2018年 一般社団法人日本スタートアップ支援協会 顧問（現任）

東証一部上場

2020年 一般社団法人東京ニュービジネス協議会 理事（現任）

2022年 東証プライム市場へ移行

株式会社アーバンフィット取締役会長 就任（現任）

2023年 株式会社Ruby開発 代表取締役社長 就任（現任）

2024年 文部科学省アントレプレナーシップ推進大使 就任（現任）

2024年 The World Management Pte Ltd（シンガポール）代表取締役社長 就任（現任）

2025年 筑波大学 非常勤講師 就任（現任）

（その他）

厚生労働省、総務省等の医療・介護・保育・ICTに関わる委員会の委員や部会構成員などを歴任

人生を抱きしめるクラウド

子育てにはじまり、介護まで。
人の幸せを支える、クラウド技術があります。

Purpose & Values

当社は「人生を抱きしめるクラウドで人と社会に貢献する」ことを企業の存在意義としております。

今後、日本をはじめ世界各国が迎える「超高齢社会」をクラウドプラットフォームでDX（デジタルトランスフォーメーション）することで、人類がウェルビーイングで持続可能な明るい未来を築くことに貢献します。

社名の由来

カナミックネットワークの社名は「介護を生き生きと活性化させるネットワークサービスを提供する」という理念から「介護（カイゴ）」と「活性化（ダイナミック）」そして「ICT（ネットワーク）」の3つのキーワードを掛け合わせて誕生しました。

1-4.カナミックグループの事業構成（3本柱）

カナミックグループは日本の課題に対するソリューション（課題解決）サービスを事業の3本柱にしています

<p>日本の課題</p> 	<p>1</p> <p>超高齢社会 (少子高齢化)</p>	<p>2</p> <p>健康寿命延伸 (人生100年時代)</p>	<p>3</p> <p>スタートアップ支援 DX支援・海外展開 (新産業の創出)</p>
<p>カナミックグループ</p> 	 KANAMIC NETWORK  KANAMIC NETWORK GROUP 康纳美克(大连)科技有限公司	 URBAN FIT24	 Ruby DEVELOPMENT  THE WORLD MANAGEMENT
<p>提供サービス</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域包括ケアDX ・ 介護DX ・ 子育て支援DX 	<ul style="list-style-type: none"> ・ フィットネスジム (指定運動療法施設) ・ ボディケア ・ 健活アプリ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ Webシステム受託開発 ・ 組込みRuby受託開発 (ソフトからハードまで) ・ ERP導入コンサルティング
<p>カスタマー属性</p> 	<p>toG toB</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自治体 ・ 医師会 ・ 医療法人 ・ 介護事業者 	<p>toC</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一般顧客 	<p>toB</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大企業 ・ メガベンチャー企業 ・ ユニコーン企業 ・ スタートアップ企業

1-5.カナミックは何の社会貢献をしている？

超高齢社会（少子高齢化）の課題解決



東京都

東京都全域を含む
全国35%の自治体に導入



ニチイ

業界最大手ニチイ学館を含む
全国48,000事業所に導入

1-6.医療介護クラウドサービス

2階層

情報共有システムは、地域全体に面で導入

※他にも多数の機能がございます

【有料対象顧客】

- ・自治体
- ・地域包括支援センター
- ・医師会
- ・中核病院
- ・在宅医

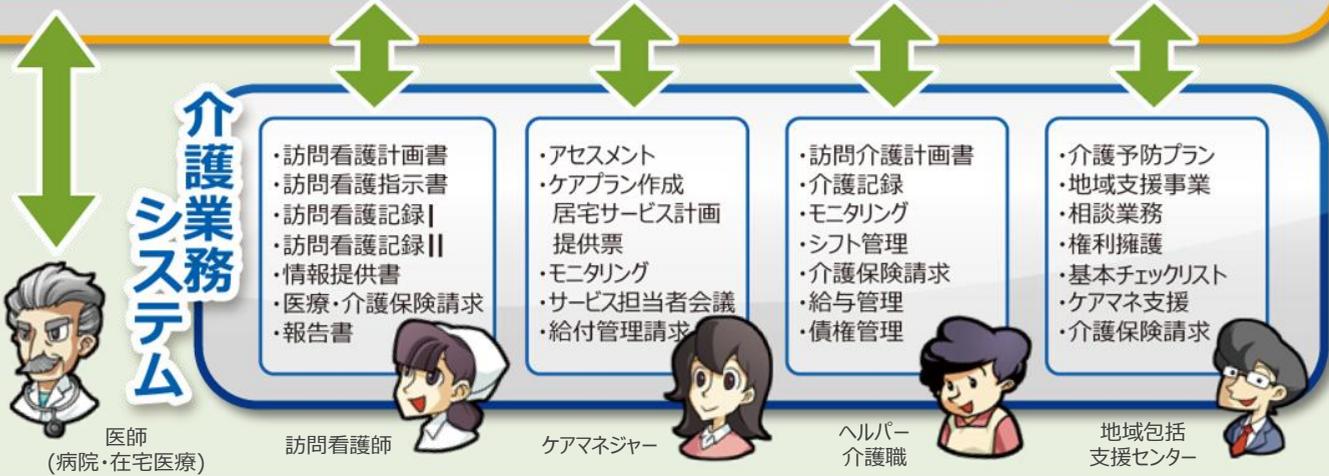
情報共有システム



【有料対象顧客】

- ・地域包括支援センター
- ・ケアマネジャー
- ・介護サービス事業者

介護業務システム

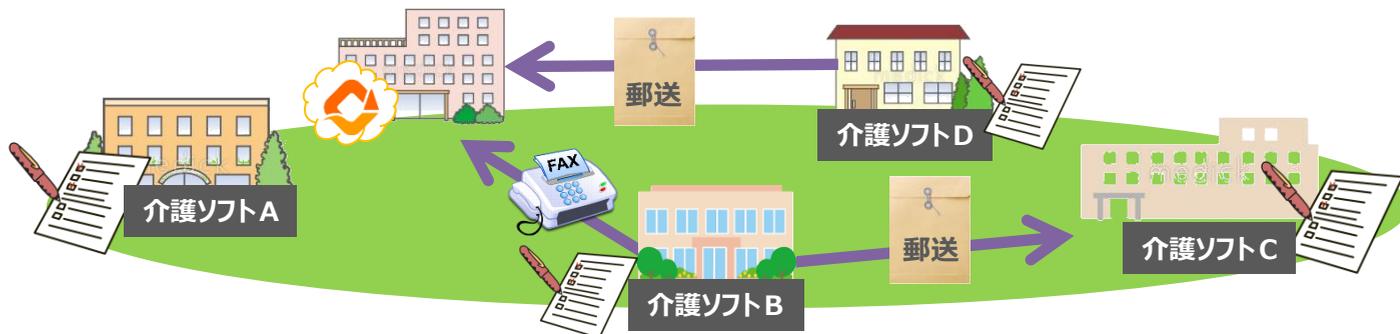


1階層

介護業務システムは、法人・事業所ごとに導入

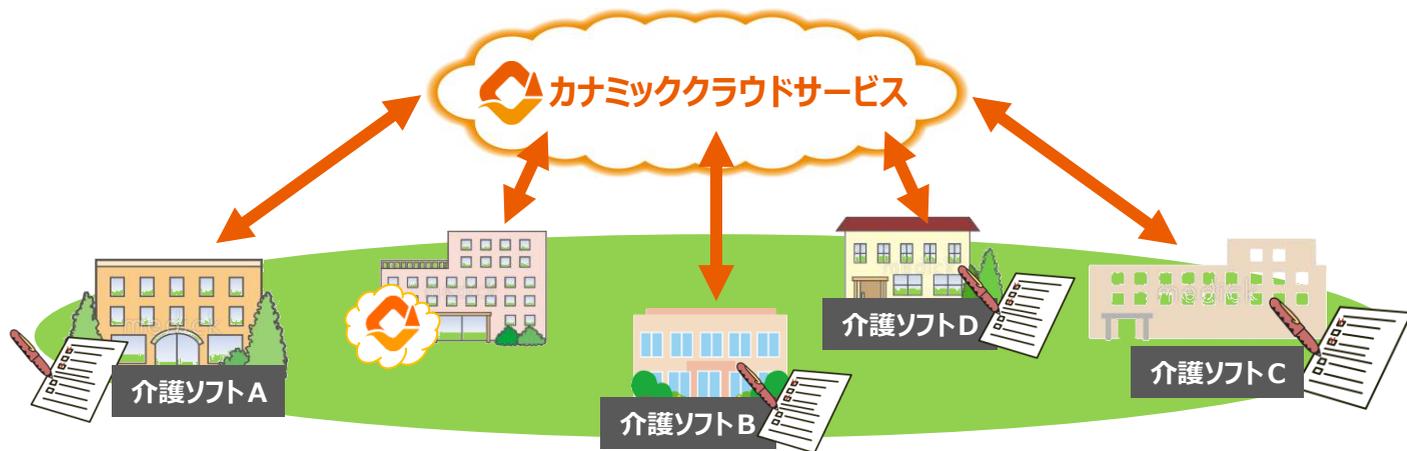
STEP.1

情報共有SYSがない状態。
バラバラの介護業務システム
導入はあり、情報共有は郵
送・FAXを利用。



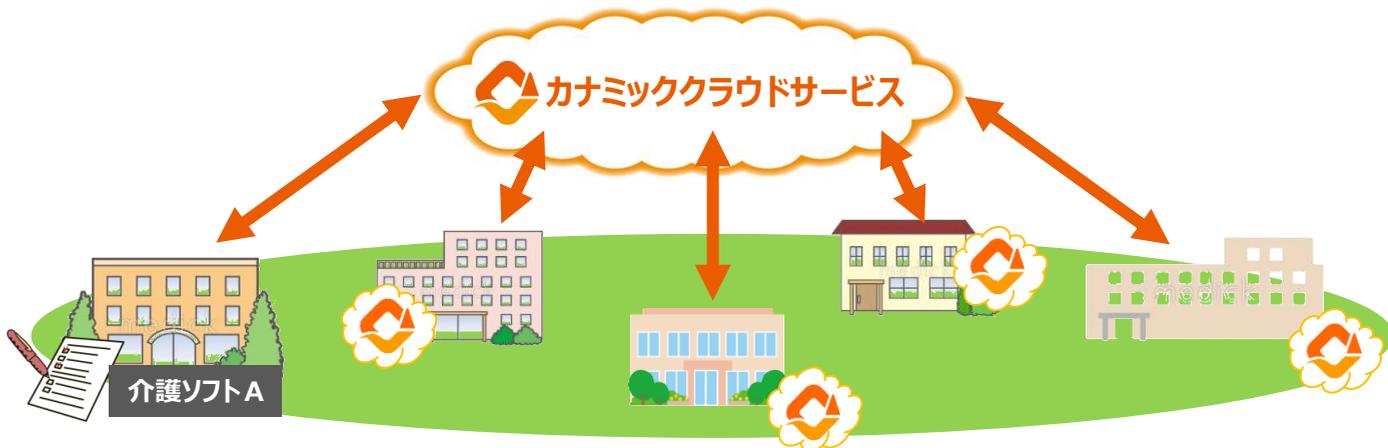
STEP.2

地域全体の情報共有に
カナミック（2階）が導入され、
情報共有が円滑になるが
現場は紙運用が残る。



STEP.3

介護業務システム（1階）を
カナミッククラウドにすると、
介護の現場の事務業務が
効率化されてペーパーレス化が
進む。



1-8.カナミッククラウドサービス 介護業務のDX

QR読取
機能

多言語
対応



カナミック業務システム



かんたんWeb明細+郵送代行(BPO)

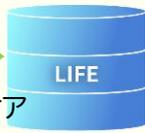


バックオフィス効率化
(債権管理、給与会計、分析機能)

日々の業務が
LIFEと連携



アセスメント・栄養ケア
機能訓練…



LIFE(科学的介護)



情報共有



IoT連携

カナミック
かんたん
電子決済



利用者マルチポイント決済



AI活用(AIルート)

カナミッククラウドサービスにより介護DXをトータルで実現！

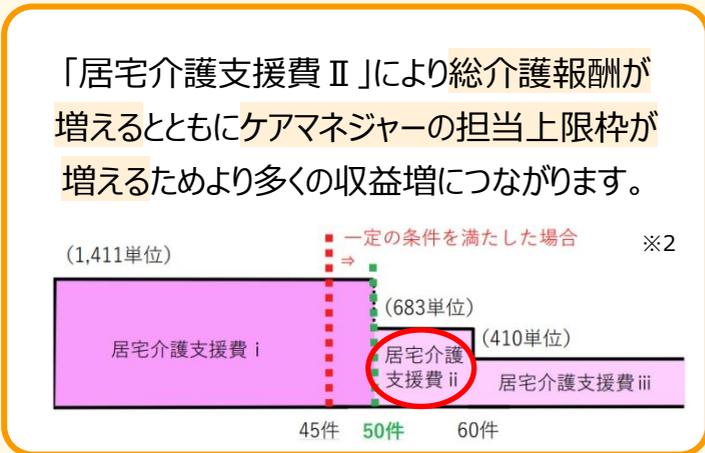
厚生労働省より居宅介護支援費Ⅱの算定要件対応システムとして 民間企業で唯一採択されました

『カナミッククラウドサービス』は、厚生労働省老健局が公募した「居宅介護支援費に係るシステムの公募」において「ケアプランデータ連携システムと同等の機能とセキュリティを有するシステム」として認められ、居宅介護支援費Ⅱを算定できるシステムとして民間企業で唯一採択されたことをお知らせ致します。

カナミッククラウドサービスはより多くの収益を上げられるシステムとしてご利用いただけます

介護加算「居宅介護支援費Ⅱ」の算定を認められたシステムは国保中央会「ケアプランデータ連携システム」以外では

唯一カナミッククラウドサービスのみ※1



※1: 厚生労働省 居宅介護支援費に係るシステムの公募について https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_44833.html
※2: 厚生労働省令和6年度介護報酬改定における改定事項についてP.131 <https://www.mhlw.go.jp/content/12300000/001213182.pdf>

1-10.カナミックは何の社会貢献をしている？

健康寿命延伸（人生100年時代の課題解決）

医療連携のメディカルフィットネスと健活アプリで健康DX！東京・名古屋・大阪に23店舗を展開中!!

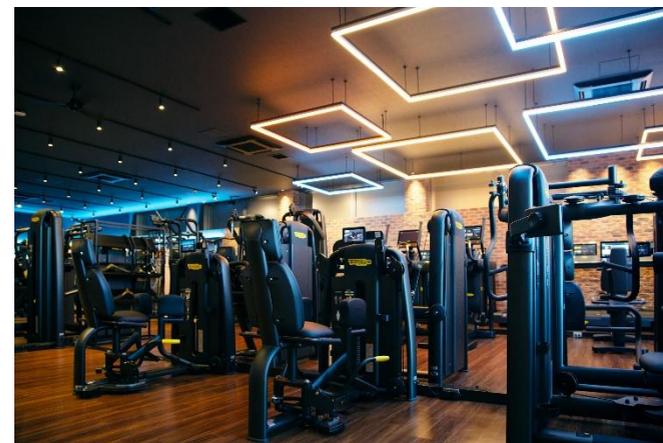


URBAN FIT24



厚生労働大臣認定
健康増進施設

厚生労働省認定
指定運動療法施設

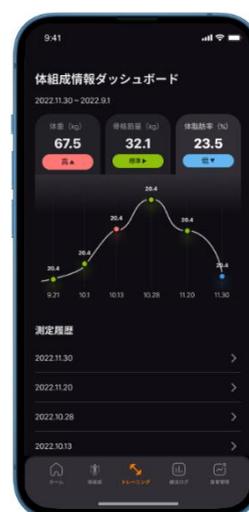
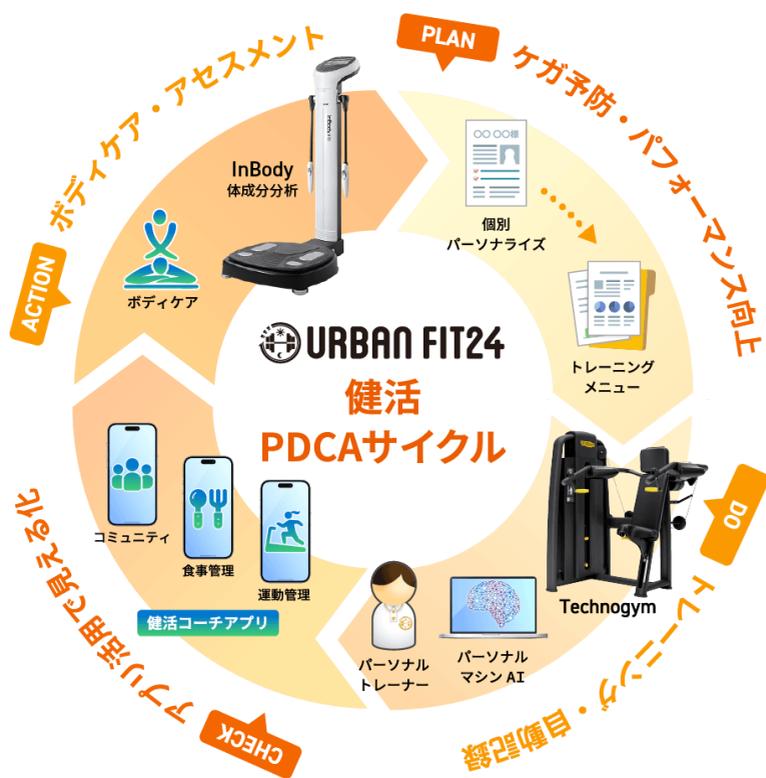


1-11.フィットネスジムサービスにさらなる付加価値をプラス

URBAN FIT24 オールインワンのヘルスケアアプリ

ライフパフォーマンス向上を目指したフィットネスジム

アーバンフィットの上質なサービスと、自社開発の「健活フィットネスアプリ」で会員様の総合的な健康管理とパフォーマンス向上をサポートしています。



- 入退館** : 会員様ごとにQRコードがリアルタイムに発行され、スムーズに入退館できます。
- 運動記録** : ジム内のマシン、フリーウエイトのトレーニングが簡単に記録できます。また、自宅でもトレーニングをサポートする動画も用意。その他スマホやウェアラブル端末から歩数、睡眠情報も取組み総合的な可視化が可能。
- 体組成測定** : 体組成測定器を読み取り、アプリで体組成情報を登録できます。
- 食事記録** : 写真を撮るだけで簡単に食事内容が登録できます。

1-12.フィットネスジムサービスにさらなる付加価値をプラス

URBAN FIT24 文京区とのシニアフィットネス事業取組み事例

事業名称	シニアフィットネス事業
対象者	文京区在住の65歳以上
概要	フィットネスクラブを利用できるチケットを配布し運動機会の創出を図っていく取組み。 利用者は無料で対象のフィットネスクラブを利用し、その利用回数に応じて文京区からクラブへ1チケット1枚あたり1,500円の助成金が支払われる。



※文京音羽店では7月1日より実施。
 ※本事業に加盟しているクラブはアーバンフィット含め7事業所。
 ※文京区65歳以上の人口43,593人の内、約**3.4%**にあたる1,511人がこの取組みに参加している。

1-13.これからIT業界で勝つために必要なことは？

図表3：国別IT技術者数 トップ10位

順位	国	IT技術者数 (万人)
1	United States	514.0
2	China ※	281.4
3	India	226.7
4	Japan	132.0
5	Germany	114.0
6	Brazil	106.4
7	United Kingdom	100.6
8	Russian	94.7
9	Korea, Republic of	77.4
10	France	76.4

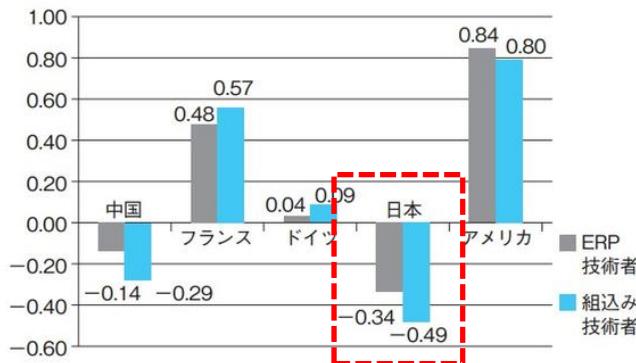


図1 ソフトウェア技術者の生産性の自己評価比較 (2016年)

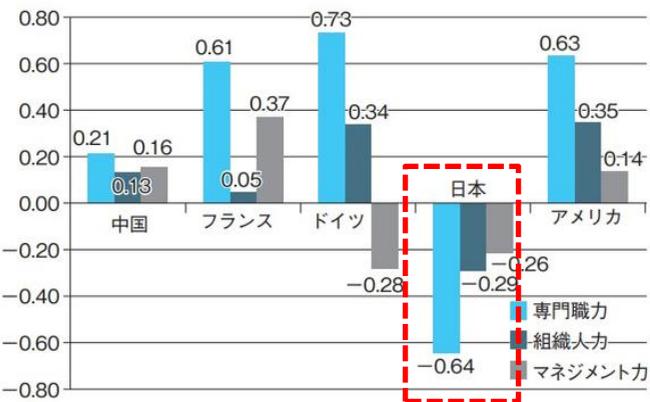
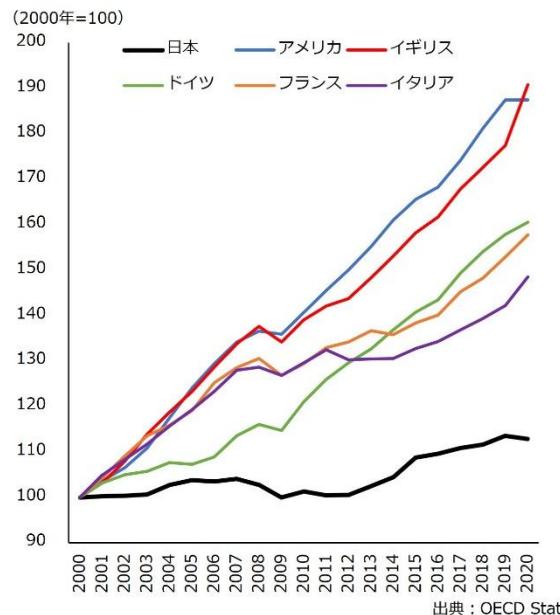
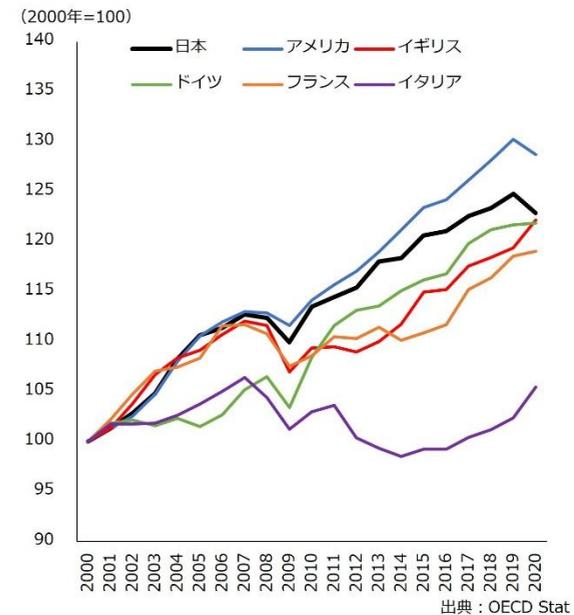


図2 3能力の5カ国比較 (2016年)

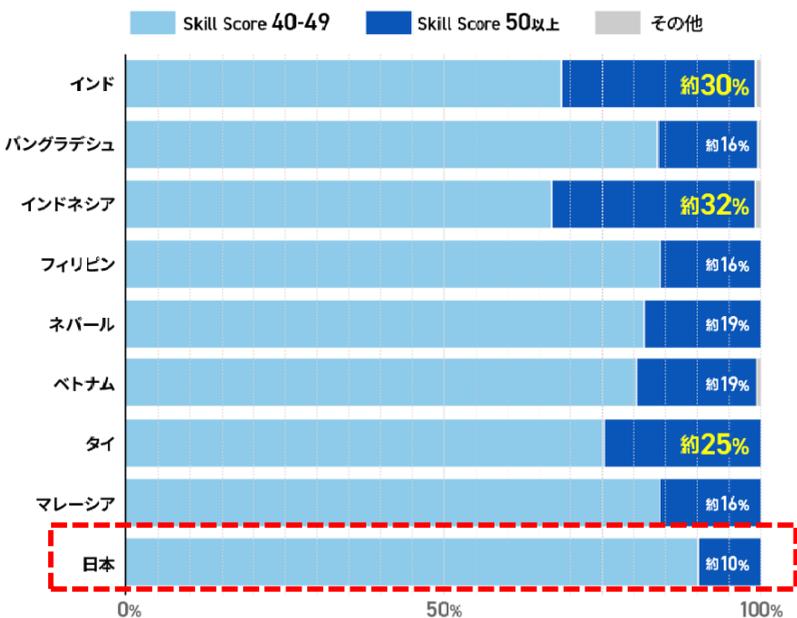
付加価値労働生産性の推移



物的労働生産性の推移



日本人はエンジニアの数はいるが、能力や生産性がとても低く世界で活躍できる水準に達していない。プログラミング言語の選定やAI活用が必須である。



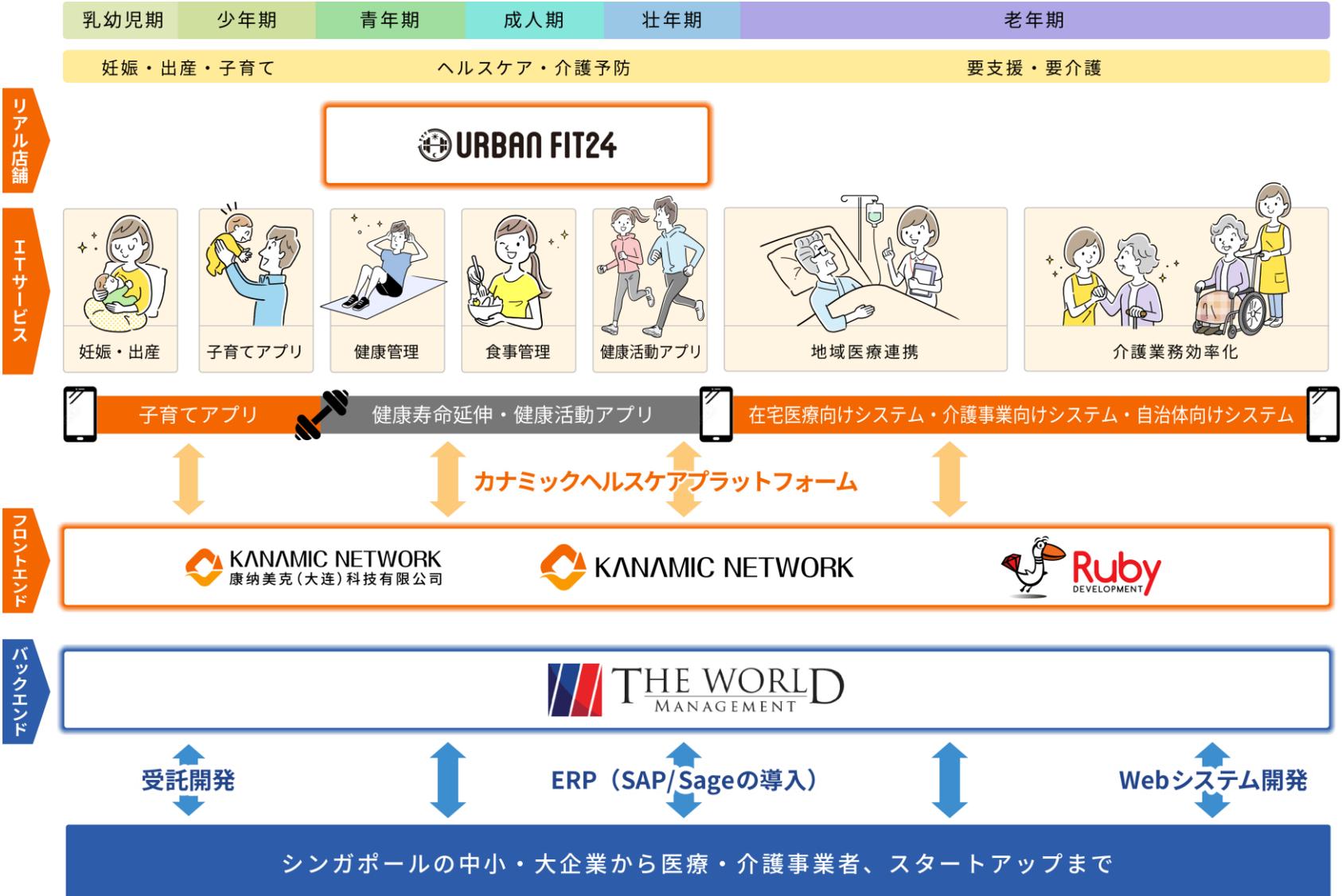
1-14. Ruby言語で開発されている有名サービス



【出典】Rubykaigi2024のHPより

1-15.グループ企業の事業構成と事業シナジー

生まれてから亡くなるまでの人生のすべてのステージで活用できる、ヘルスケア（リアル店舗）とヘルステック（ITサービス）を提供し、「人生を抱きしめるクラウド」としてカナミックグループは世の中に価値を提供します。
 また、国内外における様々な企業群に対するITサービスを提供するIT企業群としてのシナジーもグループ全体で創出しております。

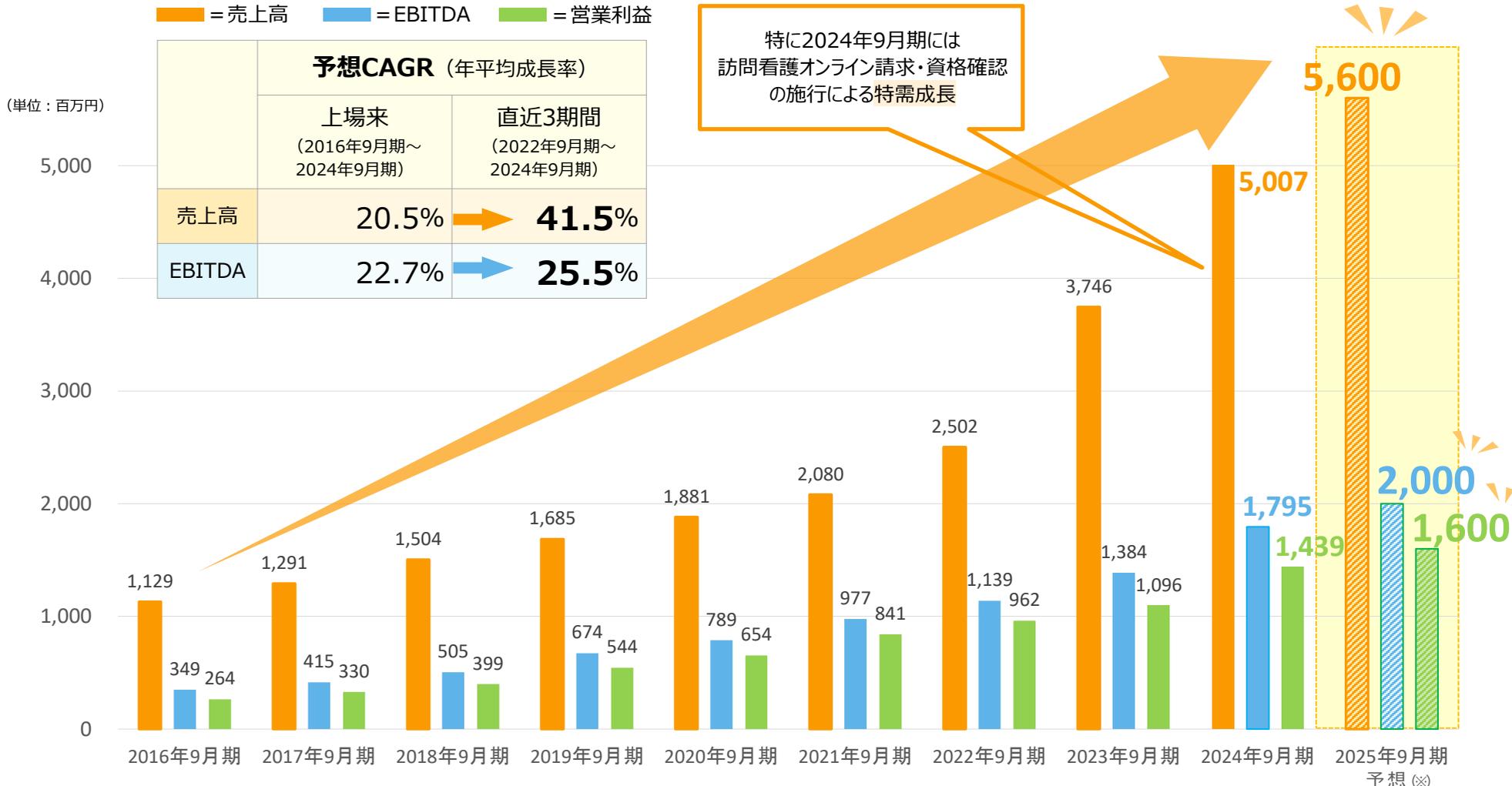


2. 業績概要



2-1.カナミックネットワーク 成長の推移

毎期最高売上・最高利益を更新し、堅調な成長と株主還元を継続 直近3期間は上場来CAGRを超える高成長

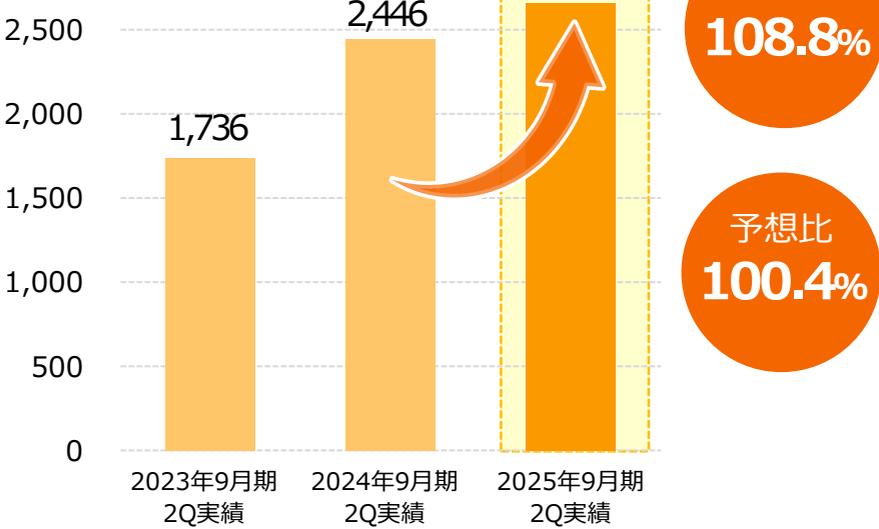


※2024年11月末にグループインした「The World Management Pte Ltd」の業績は、このグラフの25年9月期の予想値には反映されておりません。

前年同期比売上高108.8%、EBIDA114%の増収・増益を達成

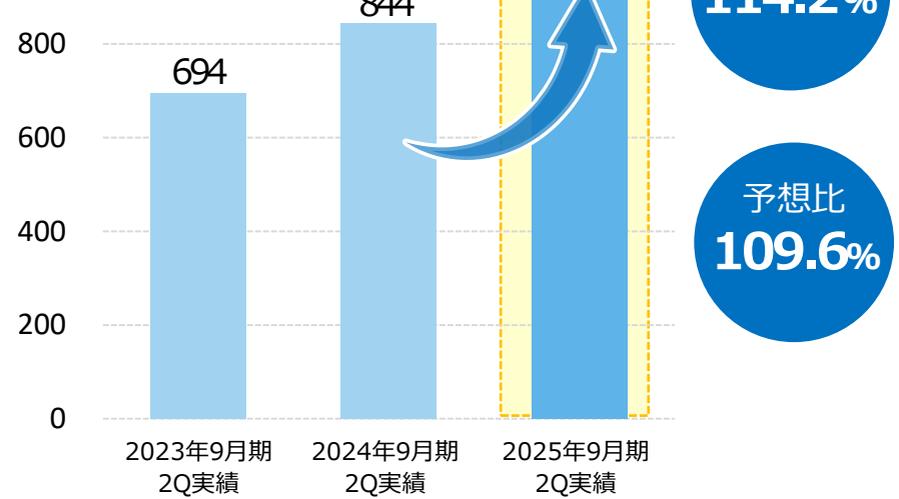
売上高

(単位：百万円)



EBITDA

(単位：百万円)



(単位：百万円)

	2023年9月期2Q	2024年9月期2Q	2025年9月期2Q			差異	
	実績	実績	予想	実績	構成比 (%)	前年比 (%)	予想比 (%)
売上高	1,736	2,446	2,650	2,661	100.0%	108.8%	100.4%
EBITDA	694	844	880	964	36.2%	114.2%	109.6%
営業利益	559	668	700	764	28.7%	114.3%	109.2%
経常利益	565	675	700	764	28.7%	113.2%	109.2%
当期純利益	405	458	490	518	19.5%	113.2%	105.8%
1株当たり当期純利益	8.55	9.65	10.33	10.93			

※EBITDAは営業利益に償却費（減価償却費およびのれん償却費）を加算した額となります。

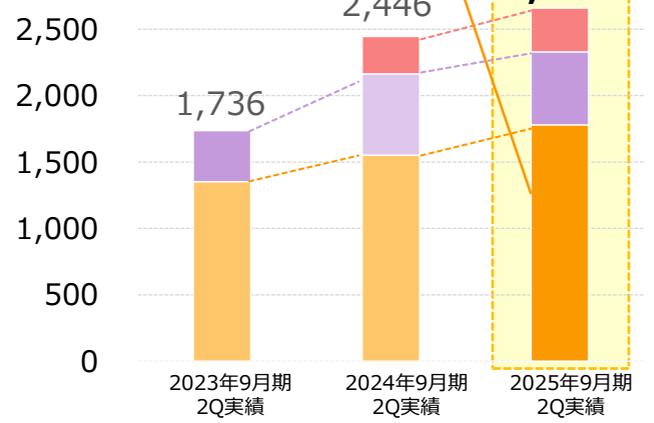
2-3.2025年9月期 第2四半期 セグメント情報

今期よりThe World Managementがソリューション開発セグメントに追加され貢献

■売上高

QonQでは、オンライン請求の初期費用特需分が減少するもストック部分は堅調に成長

(単位：百万円)



医療・介護クラウドプラットフォーム

YoY 114.7%

健康寿命延伸

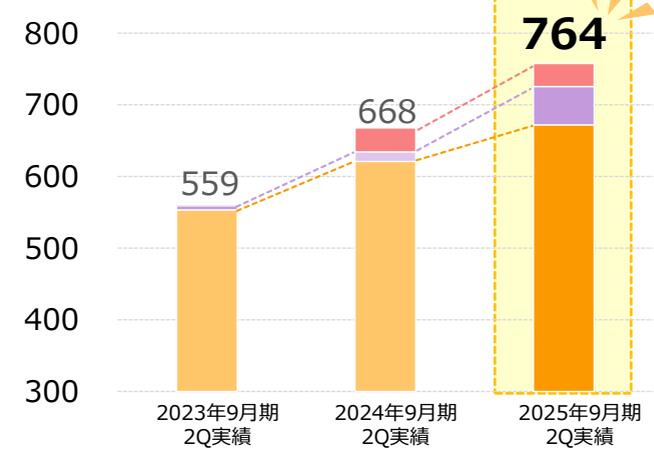
YoY 89.8%

ソリューション開発

YoY 117.3%

■セグメント利益 (数値は連結営業利益額)

(単位：百万円)



医療・介護クラウドプラットフォーム

YoY 114.9%

健康寿命延伸

YoY 389.9%

ソリューション開発

YoY 130.3%

(単位：百万円)

セグメント		売上高とセグメント利益	2023年9月期2Q実績	2024年9月期2Q実績	2025年9月期2Q実績	対前年差異 (%)
 <small>康納美克(大連)科技有限公司</small>	医療・介護クラウドプラットフォーム	売上高	1,352	1,552	1,780	114.7
		セグメント利益	552	641	737	114.9
	健康寿命延伸	売上高	384	612	550	89.8
		セグメント利益	10	14	57	389.9
 	ソリューション開発	売上高	—	281	329	117.3
		セグメント利益	—	33	44	130.3
合計 (※)		連結売上高	1,736	2,446	2,661	108.8
		連結営業利益	559	668	764	114.3

※連結営業利益は、各セグメント利益の合計からセグメント間取引、のれんの償却額を差し引いた調整後の利益額となります。

※2024年9月期のクラウドプラットフォーム事業では、オンライン請求・オンライン資格確認の初期費用特需が計上。2025年9月期2Qでは初期費用特需は終了するも、ストックビジネスが堅調に成長し同水準の数値を達成。

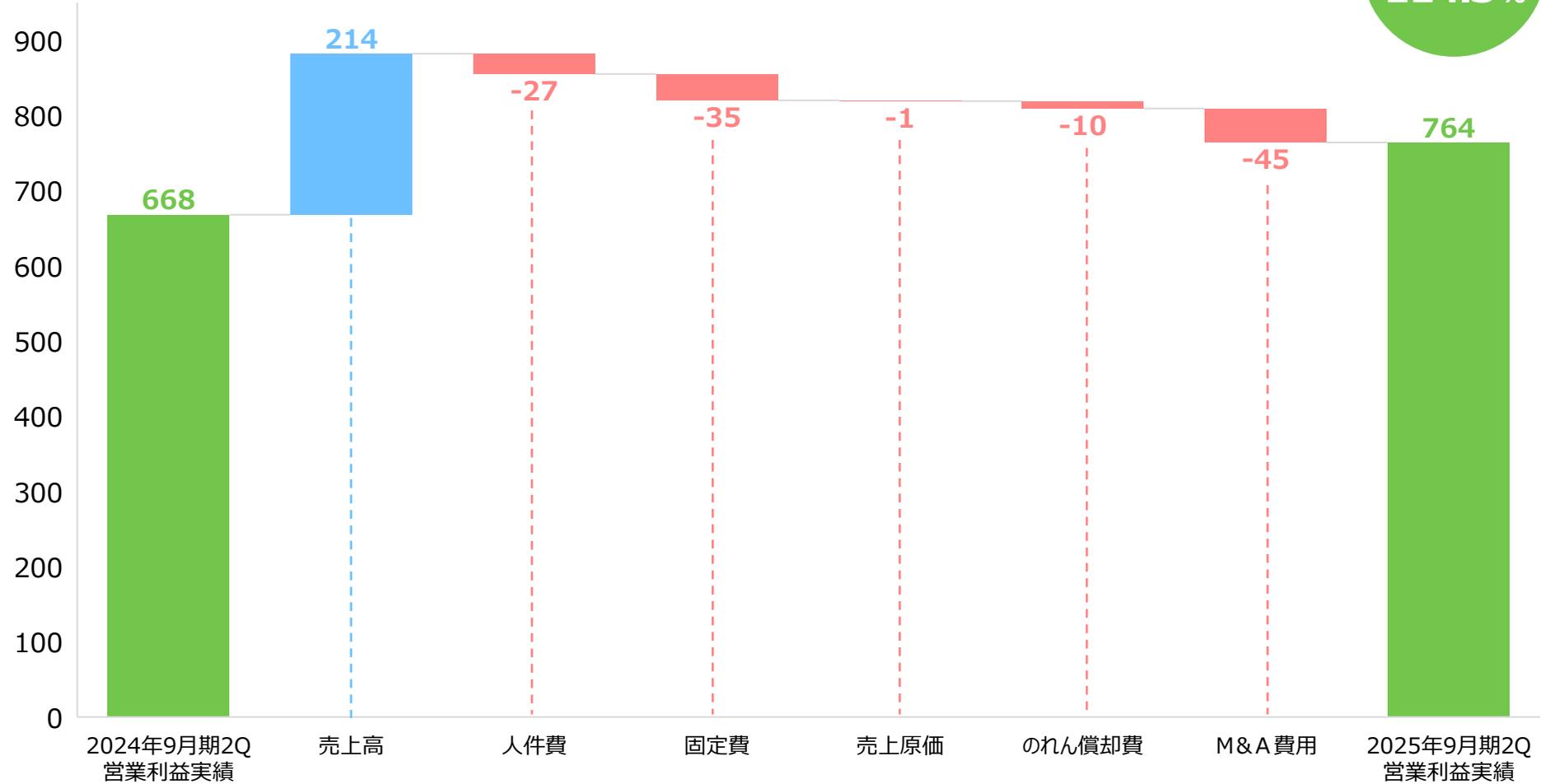
2-4. 営業利益増減要因

M&A費用が大きく影響するも、昨年同期比を上回る順調な進捗

■ = 合計 ■ = 増加 ■ = 減少

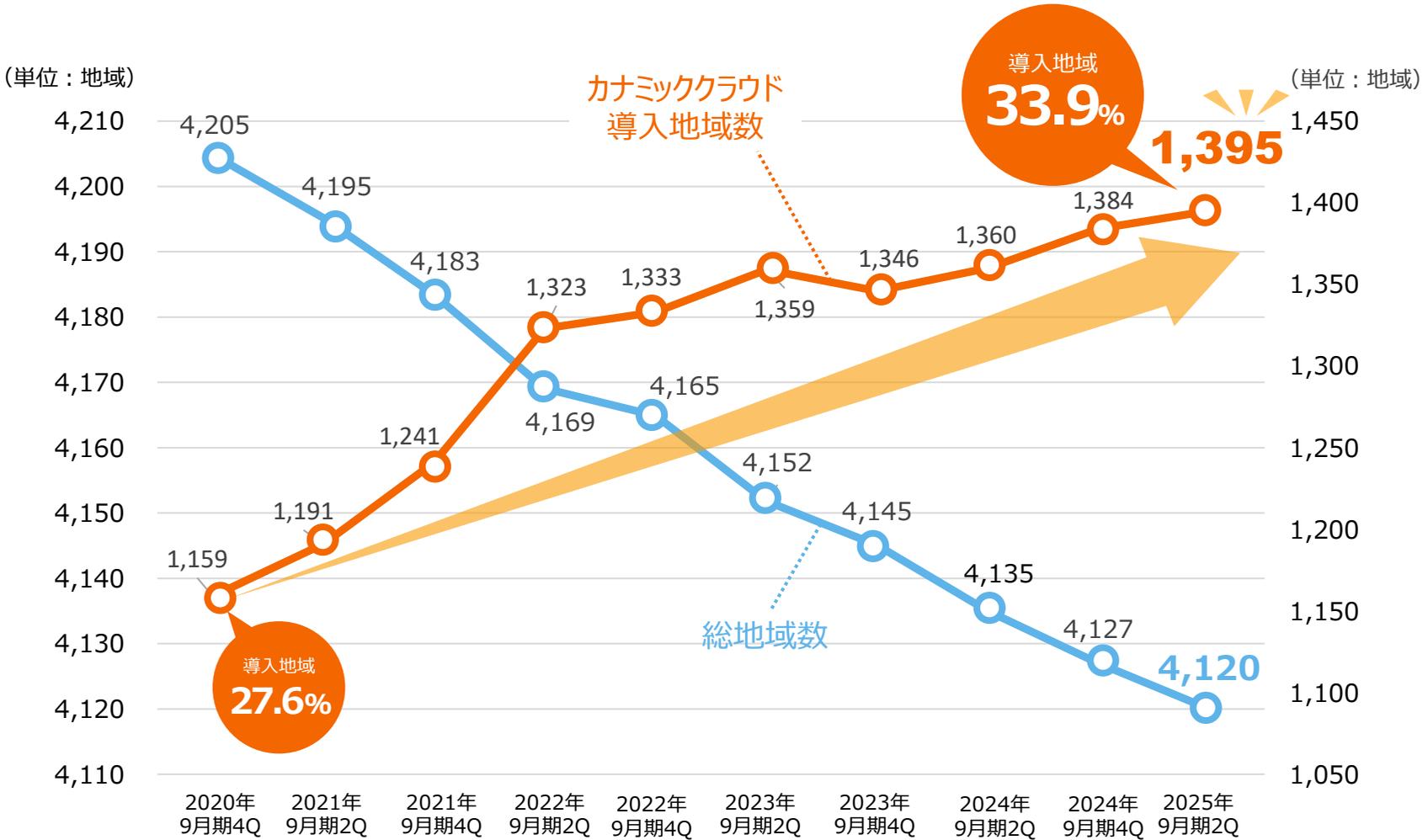
(単位：百万円)

営業利益
YoY
114.3%



2-5.クラウドサービス導入地域数の推移

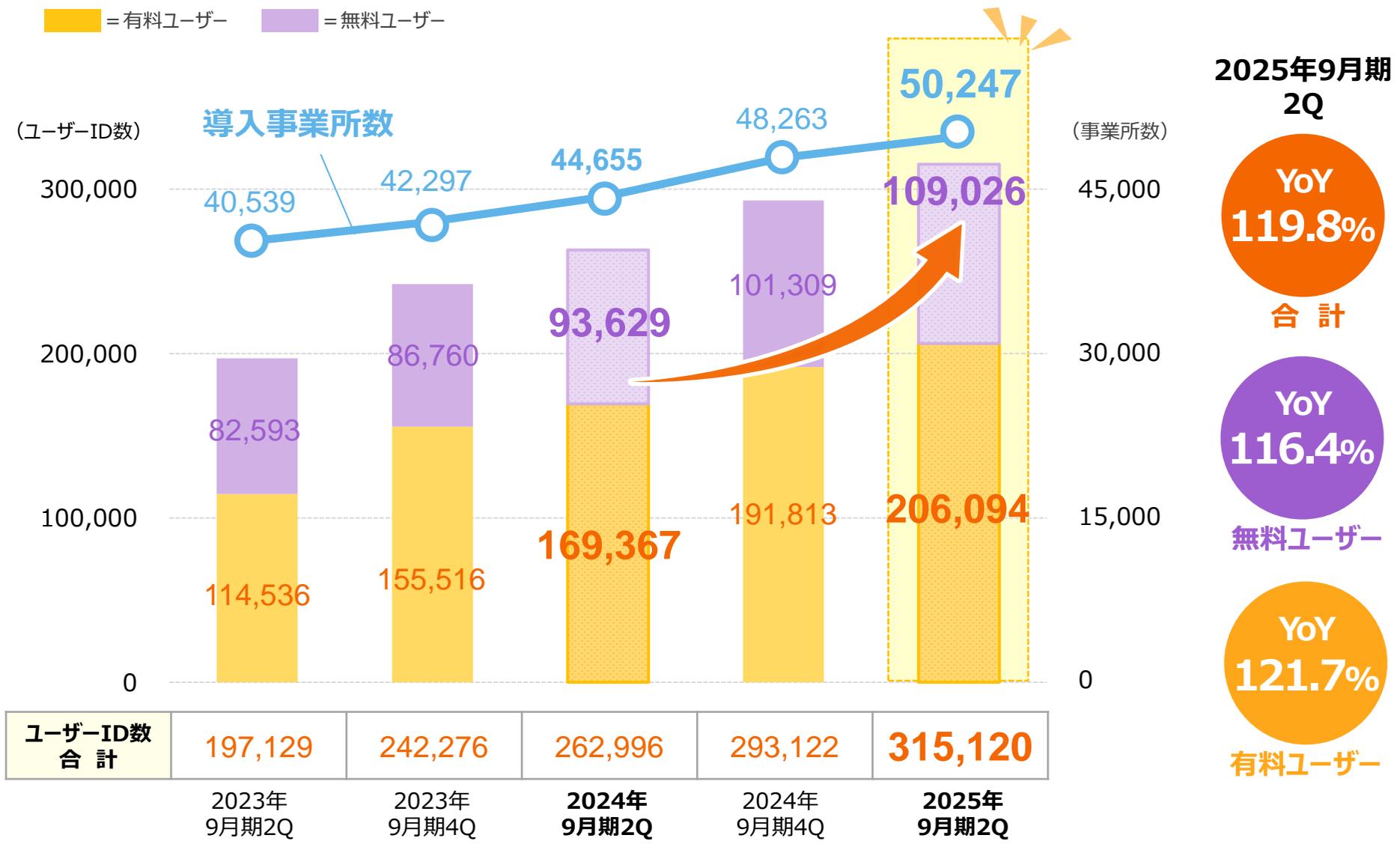
日本全体の人口減少に伴う総地域数減少状況下においても 当社のサービス導入地域数は増加中



※地域数の単位は、厚生労働省が想定する地域包括ケアの人口3万人程度の「中学校区」。
 ※地域数の割合は、e-Stat 政府統計の総合窓口「人口推計」を基に算出。25年9月期2Qの総地域数はグラフ内期間の平均減少値から推計

2-6.クラウドサービス ユーザーID数と導入事業所数推移

導入事業所数50,000件突破。ID数は前年同期比約20%増加

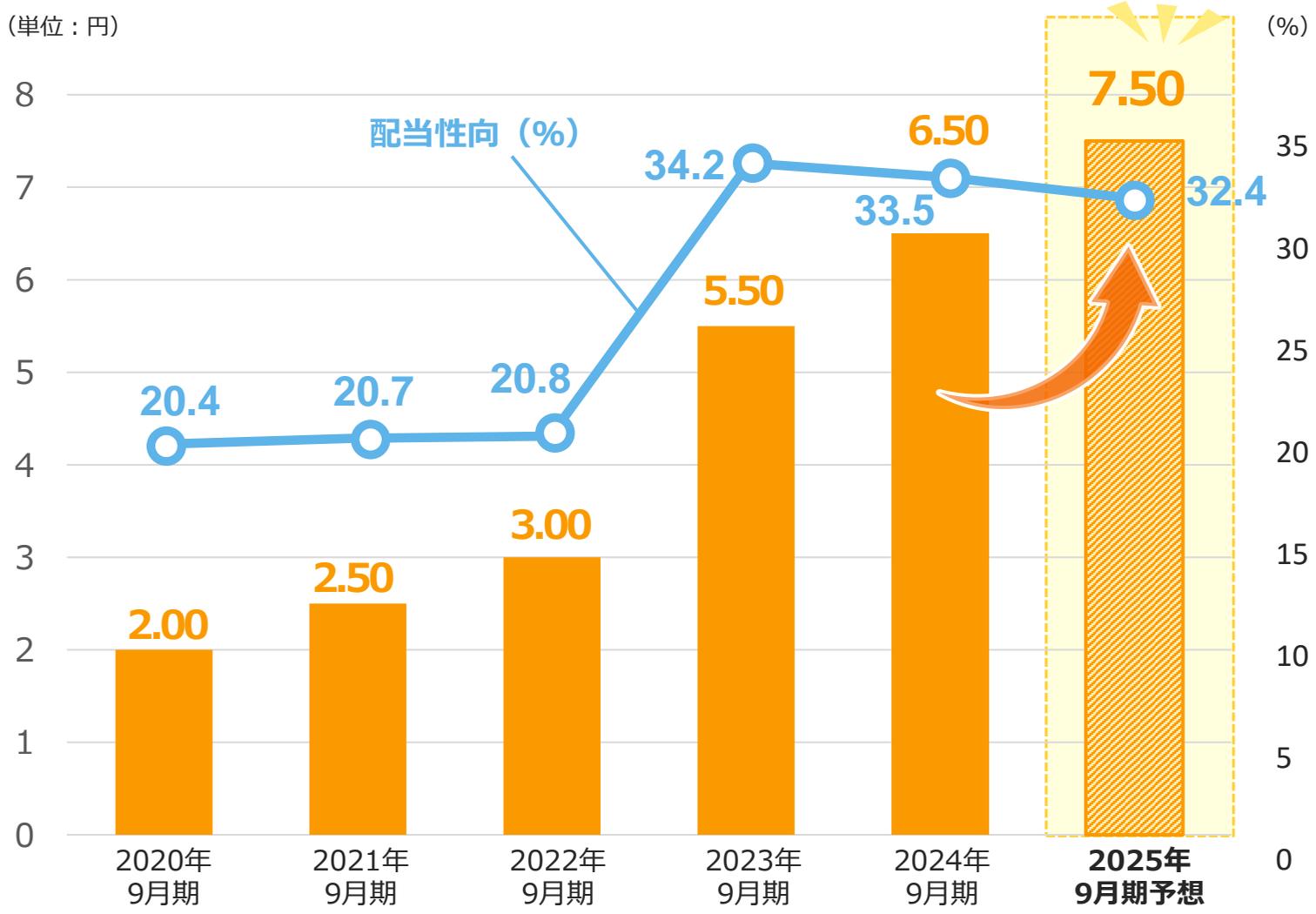


2-7.株主還元

2023年9月期より配当性向基準を30%以上に変更し、2025年9月期も増配予想。

■ 配当額

(単位：円)



2023年9月期（第23期）より従来の抽選式優待に加えて アーバンフィット24の優待券を株主様全員に贈呈しています

従来行っていた抽選式の優待制度（下記記載のJCBギフトカードの贈呈）に加えて
株主様全員へのアーバンフィット施設利用の体験チケットの贈呈を開始いたしました。

条件を満たす株主様から抽選でJCBカードを贈呈

優待

毎年9月30日現在の株主名簿に記載された100株以上を
保有の株主様

①

抽選で**10名様**に**20万円**相当のJCBギフトカード贈呈

優待

直近の期末株主名簿から100株以上を1年以上継続して保有
（期末・中間株主名簿に同一の株主番号で連続3回以上記載）の株主様

②

抽選で**3名様**に**20万円**相当のJCBギフトカード贈呈

抽選につきましては、定時株主総会終了後に実施する抽選会において、当社の株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行立会いのもと、厳正な抽選を行います。また、抽選の結果は当選された株主様の株主番号等を当社ホームページにてお知らせいたします。贈呈時期は毎年1月中旬頃の発送を予定しております。

NEW!

アーバンフィット24優待券を
株主様全員に贈呈

100株以上：優待券1枚
(5,940円（税込）相当)



施設体験チケット（1枚）
※レンタルタオル、レンタルウェア、レンタルシューズ付き
※全国のアーバンフィットで1枚につき2名様（同伴者1名様可）までご利用いただけます。

※株主番号は全株を売却された後に新たに購入された場合は、新しい株主番号に変わりますのでご注意ください。※当期は2025年9月30日時点の株主名簿に記載または記載され、100株以上保有の株主様より実施いたします。なお抽選方式優待②は、2024年9月30日、2025年3月31日 及び2025年9月30日の全ての基準日における株主名簿に同一株主番号で記録または記載された株主様が対象となります。

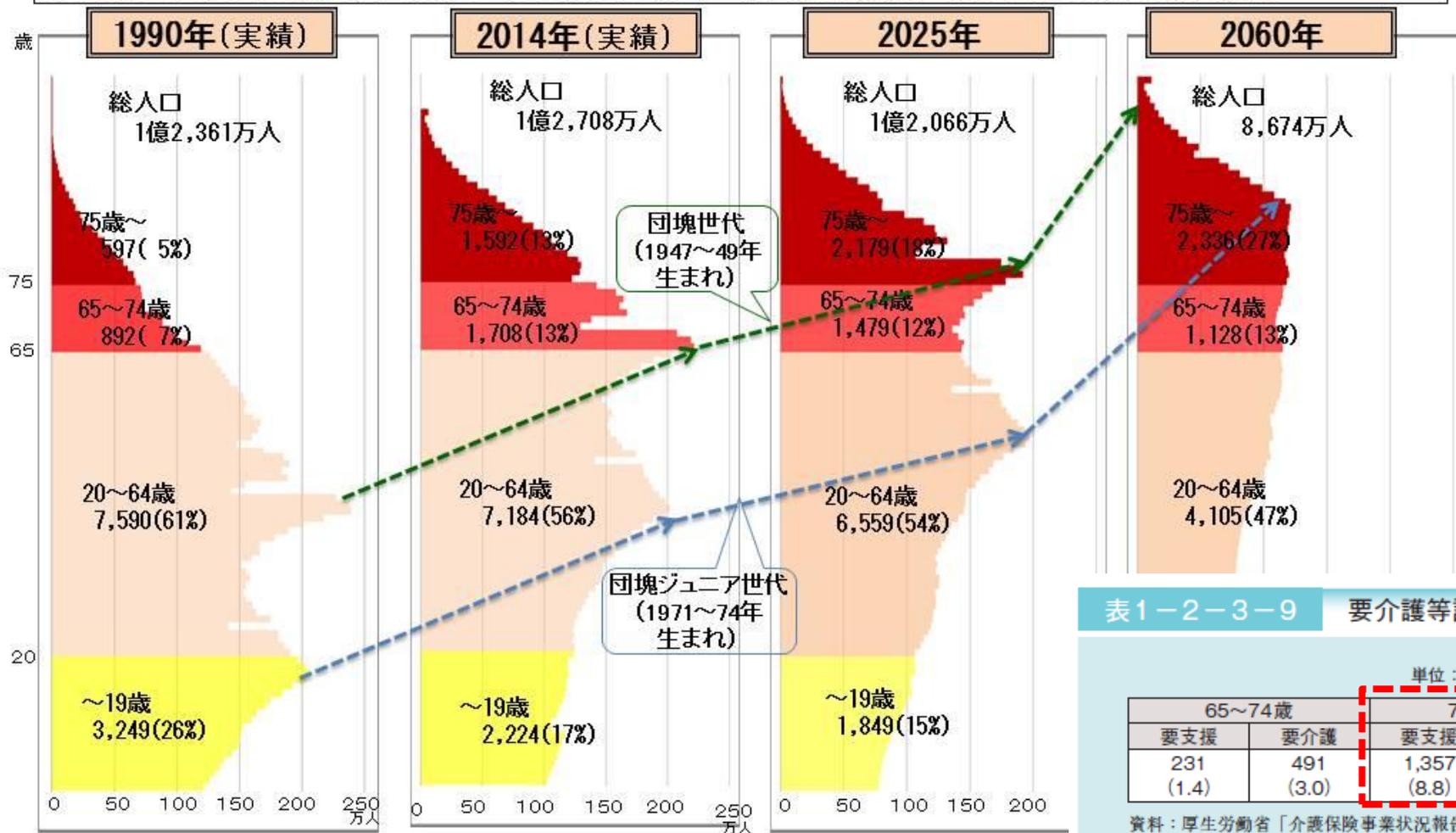
3. 成長戦略



3-1. 少子高齢化の日本と要介護認定率

日本の人口ピラミッドの変化

○団塊の世代が全て75歳となる2025年には、75歳以上が全人口の18%となる。
 ○2060年には、人口は8,674万人にまで減少するが、一方で、65歳以上は全人口の約40%となる。



(出所) 総務省「国勢調査」及び「人口推計」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成24年1月推計):出生

表1-2-3-9 要介護等認定の状況

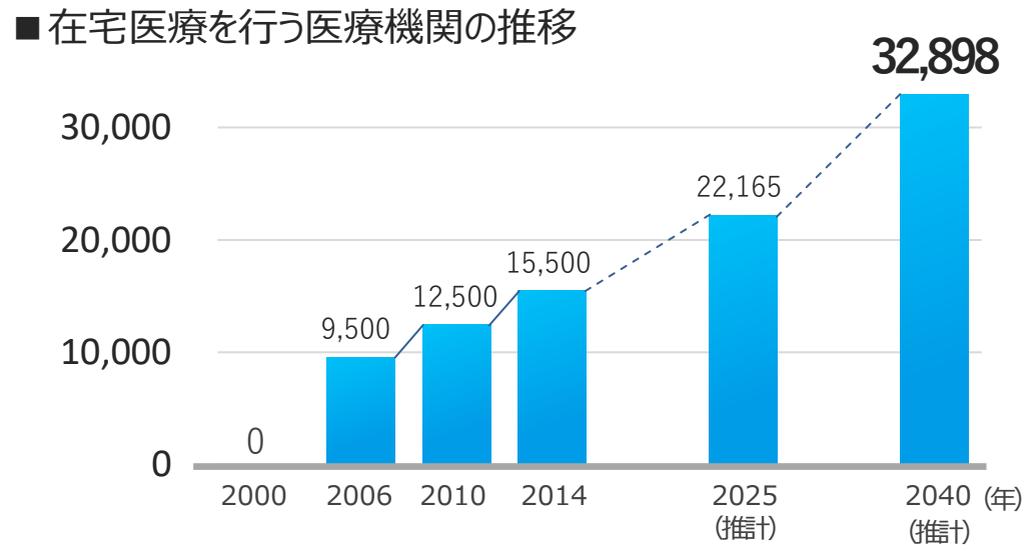
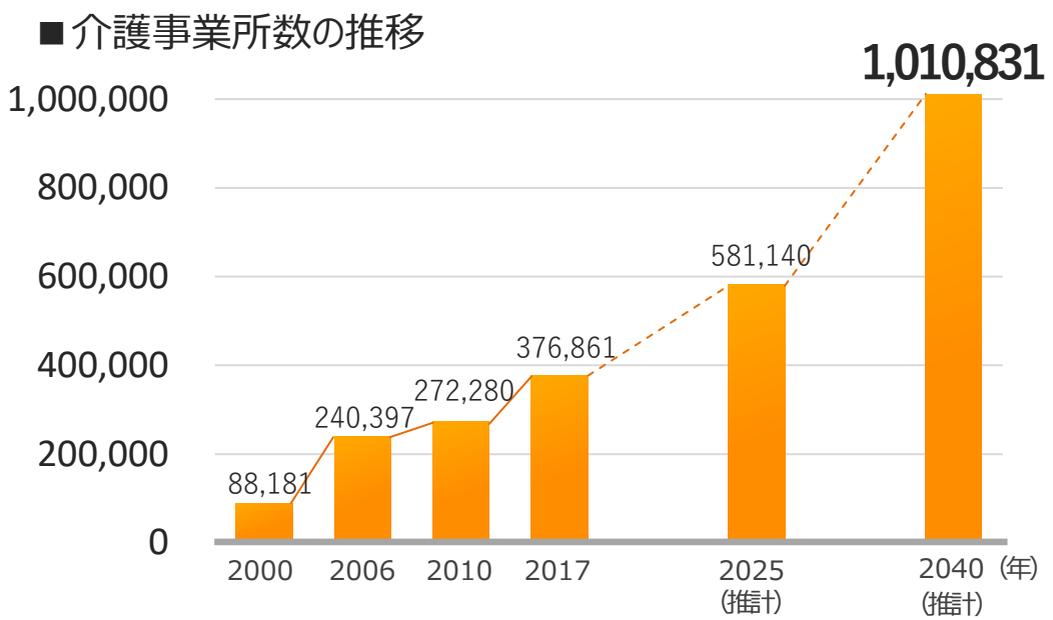
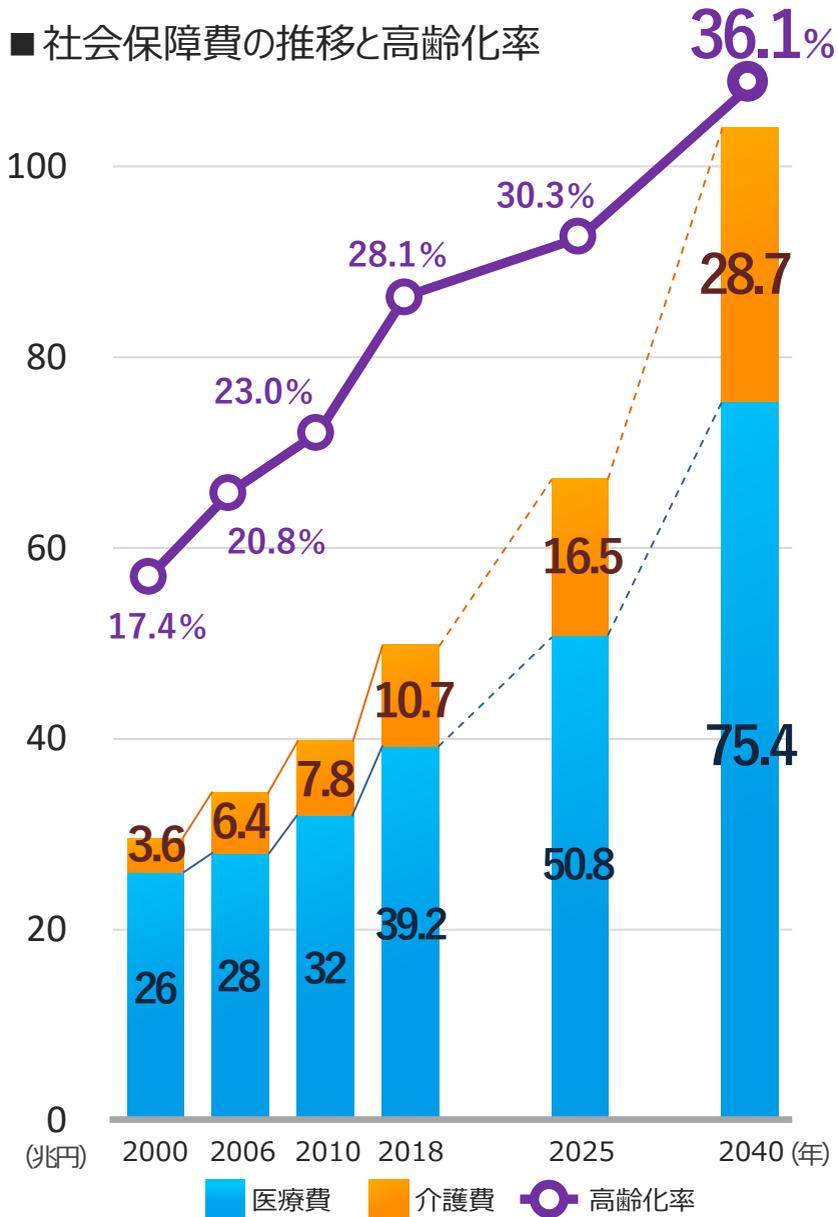
単位: 千人、() 内は%

65~74歳		75歳以上	
要支援	要介護	要支援	要介護
231 (1.4)	491 (3.0)	1,357 (8.8)	3,611 (23.3)

資料: 厚生労働省「介護保険事業状況報告(年報)」(平成25年度)より算出
 (注1) 経過的要介護の者を除く。
 (注2) () 内は、65~74歳、75歳以上それぞれの被保険者に占める割合

〈出典: 内閣府資料〉

3-2.医療・介護業界の市場規模



出典：厚生労働省、財務省、内閣府、総務省資料よりデータ抜粋してグラフ作成。事業所数の2025年、2040年数値は社会保障費から推計。社会保障費の2025年、2040年数値は「2040年を見据えた社会保障の将来見通し（議論の素材）」の成長実現ケース、計画ベース（医療は②）。

3-3.カナミックビジョン2030 M&Aによる成長戦略

Phase4 : 海外展開

- 医療・介護 ICT
- 健康寿命延伸事業 (日本の KAIGO で世界の高齢社会を救う)

Phase3 : ブランディング (BtoC)

- 医療関連事業
- 薬局関連事業
- 介護関連事業
- データビジネス (製薬関連、紹介ビジネス等)
- 健康寿命延伸事業
- ※食・運動・コミュニティ ※アクティブシニア向け

Phase2 : プラットフォームサービス拡大 (BtoB、BtoBtoC)

- インターネット広告
- Fintech
- Web 明細 /BPO
- AI/IoT
- 人材紹介 / 派遣
- 物販
- SES 事業
- IT ラボ事業
- シェアリングエコノミー

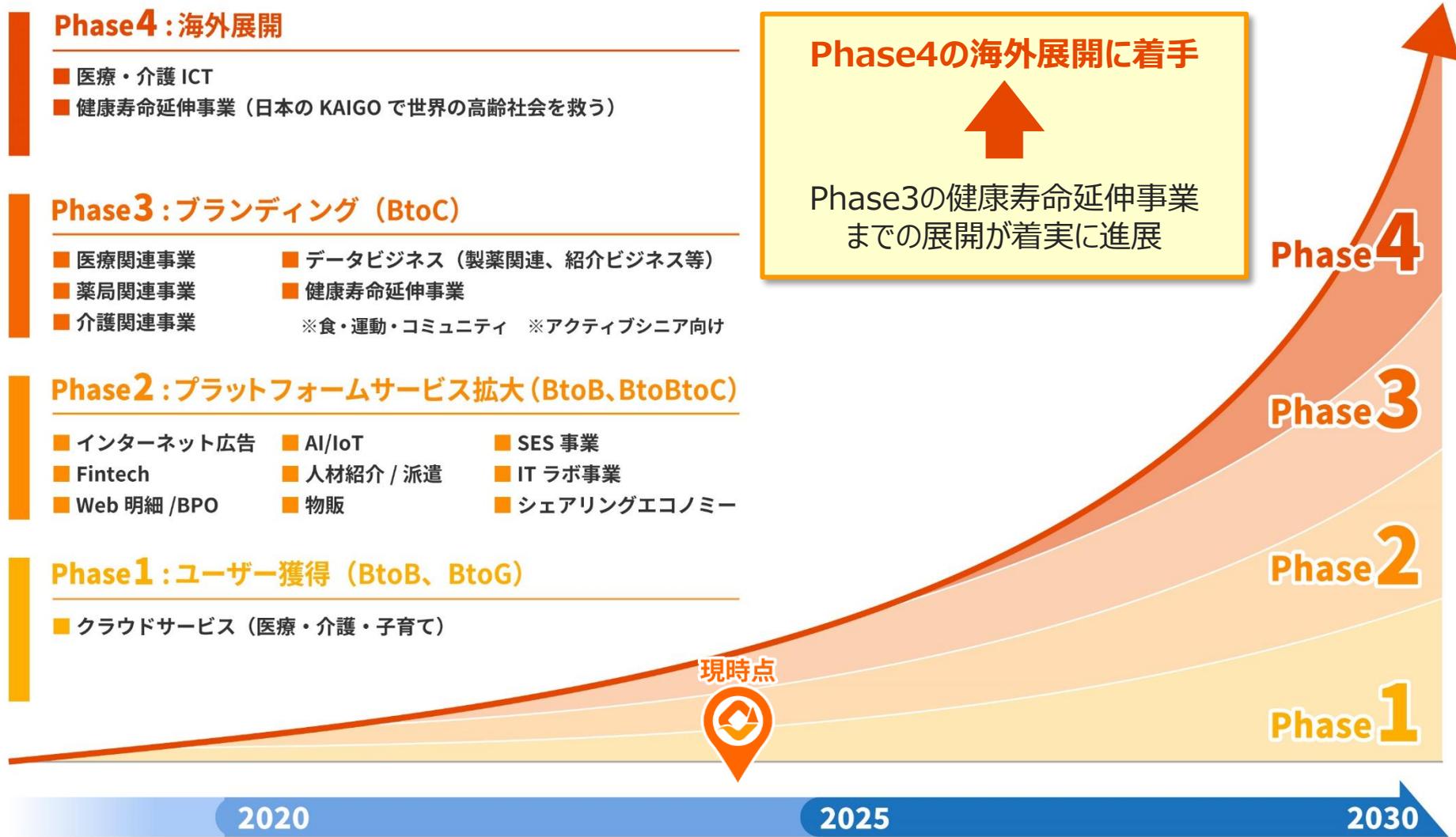
Phase1 : ユーザー獲得 (BtoB、BtoG)

- クラウドサービス (医療・介護・子育て)

Phase4の海外展開に着手

↑

Phase3の健康寿命延伸事業
までの展開が着実に進展



●: 日本の状況
●: 世界の状況

● パンデミックによる健康意識向上

● マイナンバー活用
科学的介護の推進
介護のDX化

● 日本の高齢化率 30%を突破

● 団塊の世代が全員 75歳を超える

● 欧米の先進国が
高齢化率20%を
超える

● 非感染性疾患 (NCD) による死亡数は2030年までに
世界で5,500万人に増加

● 団塊の世代が
全員80歳を超える

● アジア諸国が
高齢化率
15~20%へ

3-4.The World Management Pte. Ltd.の概要

医療・介護分野で培ったノウハウをシンガポールで展開。海外進出本格スタート！



<THE WORLD MANAGEMENT PTE LTD の株式取得（完全子会社化）に関するお知らせ>

当社は、2024年10月29日開催の取締役会において、THE WORLD MANAGEMENT PTE LTD（以下、「TWM社」）の株式を取得し当社の連結子会社とするため、株式譲渡契約を締結することを決議しましたので、お知らせいたします。

THE WORLD MANAGEMENT PTE. LTD.（以下、TWM）は、シンガポールにおいて多くの顧客を保有するERP導入コンサルティング企業である。1980年の創業以来、Sageの導入コンサルを開始し会計周りのインターフェイスの提案を行うことで業容が拡大し、その後SAPの取り扱いを開始。直近では、「Sage Top Excellence Partner 2023 for Highest ISV Growth」、「SAP Growth Partner of the Year – Singapore 2023」などのアワードを受賞している。

商号	The World Management Pte. Ltd.
本社所在地	100 LORONG 23 GEYLANG, #06-01 D’CENTENNIAL 388398 SINGAPORE
代表者	WANG WENG KANG (50%) , CHUA LI CHENG JENNY (50%)
創業・設立	1980年1月
資本金	SGD 50,000
事業内容	SAP,Workbench（プロジェクト管理）、SAGE（顧客関係管理ソフトウェア）を法人クライアントに提供している。コンサルティング、トレーニング、サポート、開発のすべてを自社で行うケイパビリティを有する。
従業員数	25名（役員含む）

受賞アワード



3-5.The World Management Pte. Ltd.の概要

医療・介護事業者を含め1000以上のプロジェクト実績を有するITコンサル企業

TWM社の顧客には物流、サービス、情報・通信、機械、建設、電気・ガス等々、様々な業種の企業があり、中にはグローバル企業、日系企業も含まれている。医療・介護系では750床と400床の介護施設やリハビリテーションセンター・コミュニティケアセンター・在宅ケアサービスを提供している事業者「Kwong Wai Shiu Hospital※1」や、40以上のクリニックを展開している「Singapore Medical Group※2」なども含まれている。

TWMは、これらの事業者に対し、SAP/Sageの導入コンサル、メンテナンス、サポートを行っており、会計業務システム、顧客管理システム等のERP/ITサービスを提供している。

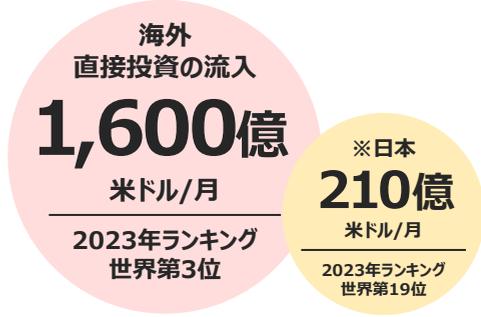
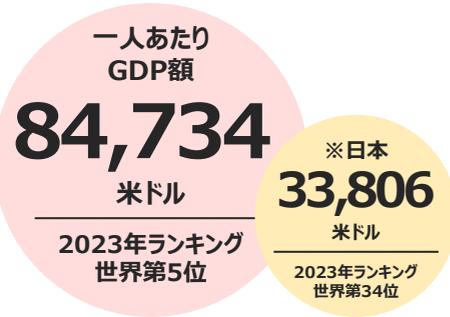


出典 : The World Management Pte. Ltd. HPより

3-6.シンガポールへの展開について 【アジアの要衝】

シンガポールの国際的競争力は高く、周辺地域への展開につなげることも可能

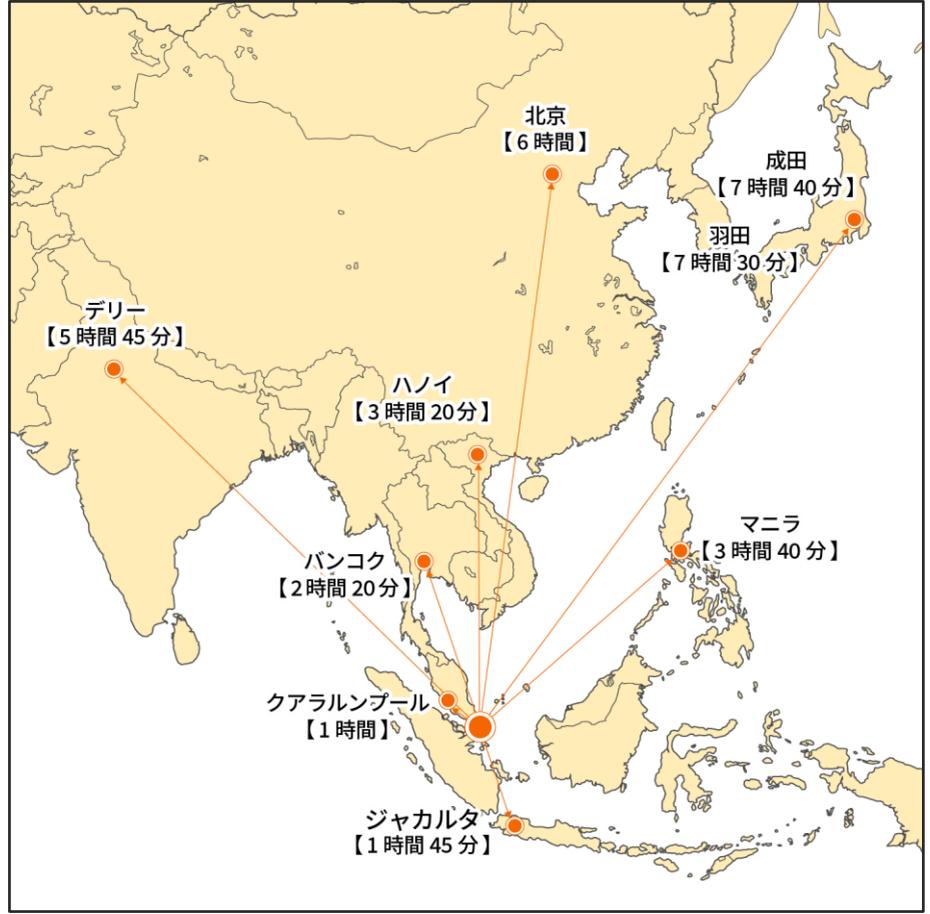
シンガポールはマレー半島の南端に位置する都市国家。面積は東京23区とほぼ同じで人口564万人と小さな国だが、ビジネス環境の先進性を政府主導で維持しており、多くの多国籍企業が地域統括拠点・本社機能を設置。アジアの要衝に位置し周辺地域へのアクセスが容易なため国際的な競争力も高い。



各国との条約締結状況	
FTA	(自由貿易協定)
IGA	(投資保護協定)
DTA	(租税条約)

シンガポールから周辺諸国へのアクセス

近隣国の主要都市に毎日複数便が往行



※飛行時間は目安、1都市に2空港以上の場合主要空港のみ（日本は例外）

出典：IMF、JETRO、UNCTAD、チャンギ空港HPの資料を基に作成

3-7.シンガポールへの展開について 【医療・介護の状況】

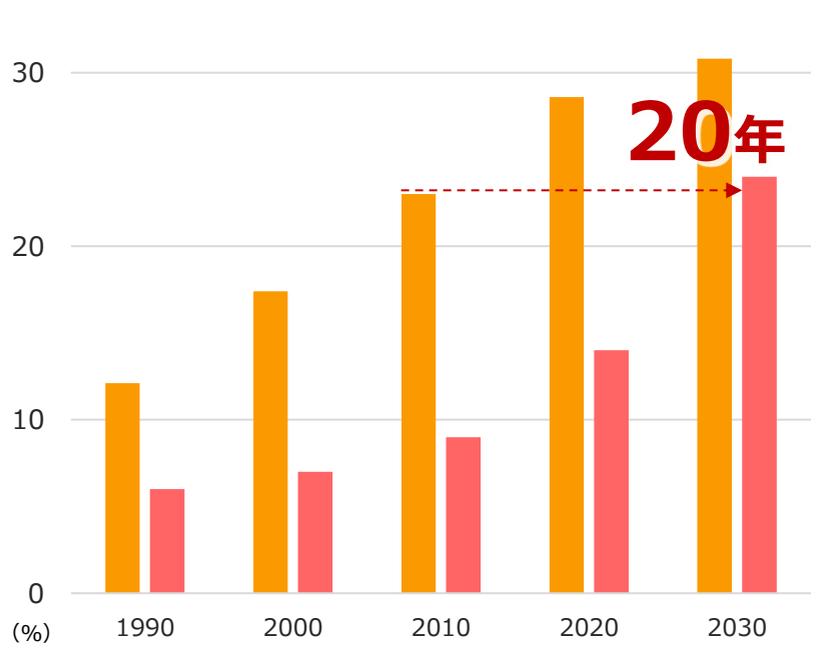
シンガポールでは日本から約20年遅れて、同様の高齢化を辿っている

ASEAN主要国及びインドでは、経済水準の上昇と医療体制整備の進展等を背景に、長寿命化が進展。一方で合計特殊出生率をみると、シンガポールでは、少子高齢化が社会問題化する日本を大きく下回っており、将来社会を支える国民が少なくなる状況にある。ただ、外国人の流入により人口自体は増え続けている状況である。東南アジア各国の社会保障制度をみると、介護保険制度を有しているのはシンガポールのみ。今後高齢化が深刻化していく過程で社会保障を充実させる動きが活発化することが想定され、特に深刻なシンガポールやタイでは今後加速化していくことが見込まれる。

日本とシンガポールの状況比較

	日本	シンガポール
人口 (2023)	125百万人	6.0百万人
一人あたりGDP額 (2023)	USD33,806	USD84,734
合計特殊出生率	1.30	1.02
平均寿命	84.8歳	82.8歳
高齢化率 (2021年→50年)	30% → 38%	14% → 34%
高齢者1人を支える生産年齢人数(2021年→50年)	2.0人 → 1.4人	5.2人 → 1.6人
社会保障制度	医療保険	○
	年金保険	○
	介護保険	○

■ 各国高齢化率の推移 ■ =日本 ■ =シンガポール



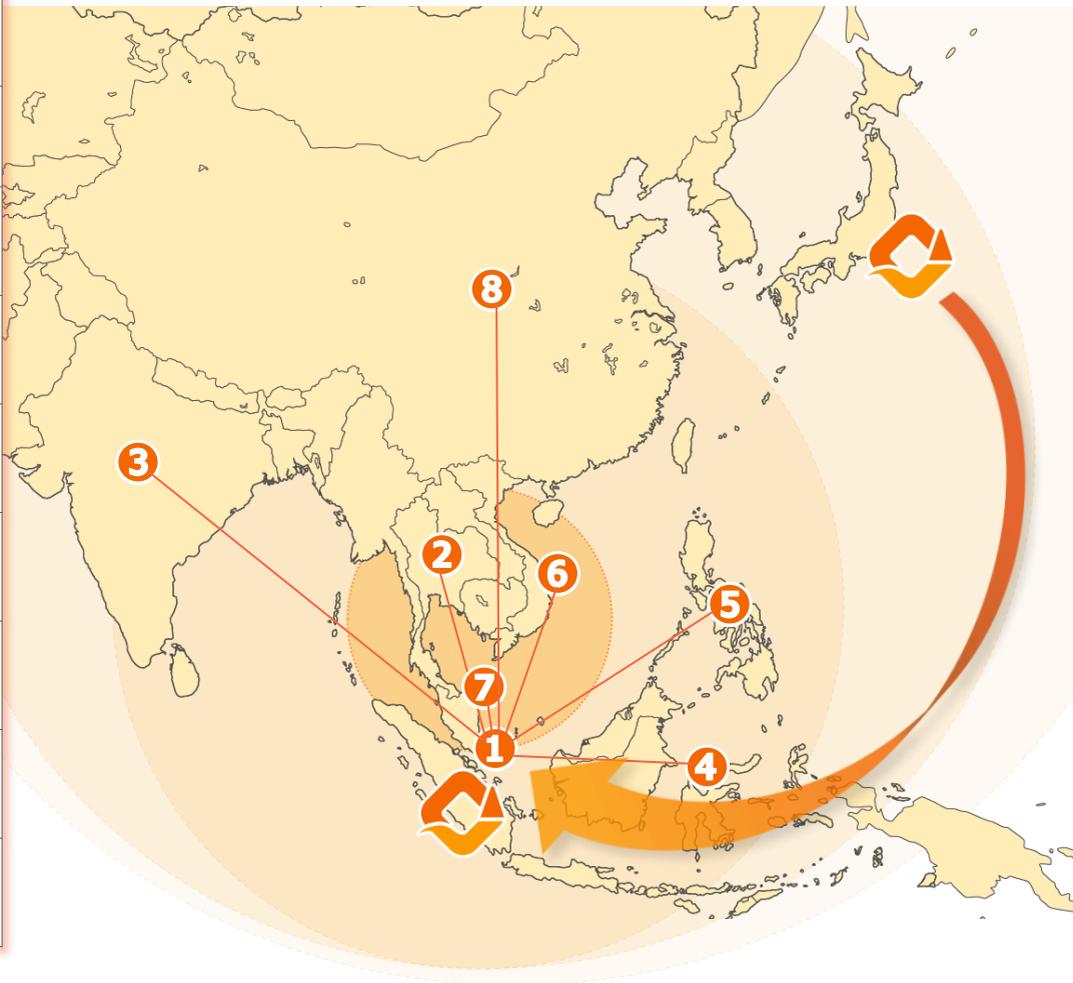
出典：United Nations、IMF、JETRO、厚生労働省、内閣府、Ministry of Health & Family Welfareの資料を基に作成

3-8.シンガポールへの展開について 【医療・介護の状況】

ASEAN主要国・インドでも経済水準や医療体制整備の進展等を背景に、長寿命化・高齢化が進行

カナミッククラウドサービスの 市場規模・展開範囲はさらなる拡大を見込む

	人口	高齢化率 (2021年→50年)	高齢者1人当たり 生産年齢人口 (2021年→50年)
①シンガポール	6.0百万人	14%→ 34%	5.2人→ 1.6人
②タイ	72百万人	15%→ 32%	4.8人→ 1.8人
③インド	1,408百万人	7%→ 15%	9.9人→ 4.5人
④インドネシア	274百万人	7%→ 15%	10.0人→ 4.4人
⑤フィリピン	114百万人	5%→ 11%	12.0人→ 6.1人
⑥ベトナム	97百万人	9%→ 20%	7.8人→ 3.1人
⑦マレーシア	34百万人	7%→ 17%	9.6人→ 3.8人
⑧中国	1,412百万人	14%→ 30%	3.8人→ 1.9人
日本(参考)	125百万人	30%→ 38%	2.0人→ 1.4人



出典：United Nations、IMF、ジェトロの資料を基に作成

3-9.海外展開の展望

シンガポールを拠点に海外進出し、その後さらに東南アジアへの展開を見込む。



カナミックグループは超高齢社会の課題に対するソリューション（課題解決）サービスを事業の3本柱にしています

① **超高齢社会**
(少子高齢化)

② **健康寿命延伸**
(人生100年時代)

③ **スタートアップ支援**
(新産業の創出)

KANAMIC NETWORK

 KANAMIC NETWORK
康纳美克(大连)科技有限公司
URBAN FIT24

1 国とともに日本のハイレベルな**日本式介護**を輸出。

2 シンガポールを中心とする東南アジアの病院、クリニック、介護施設に対し、カナミックネットワークが持つ**医療・介護DX技術**や**健康寿命延伸**に資するサービスを展開する。

3 スピーディなWebサービスの企画・開発の提供を行うことでシンガポールを中心とする**スタートアップ企業の支援**を行う。

4 シンガポールで医療・介護・健康DX成功事例を構築し、**「日本-シンガポールモデル」**を東南アジア全域に広げていく

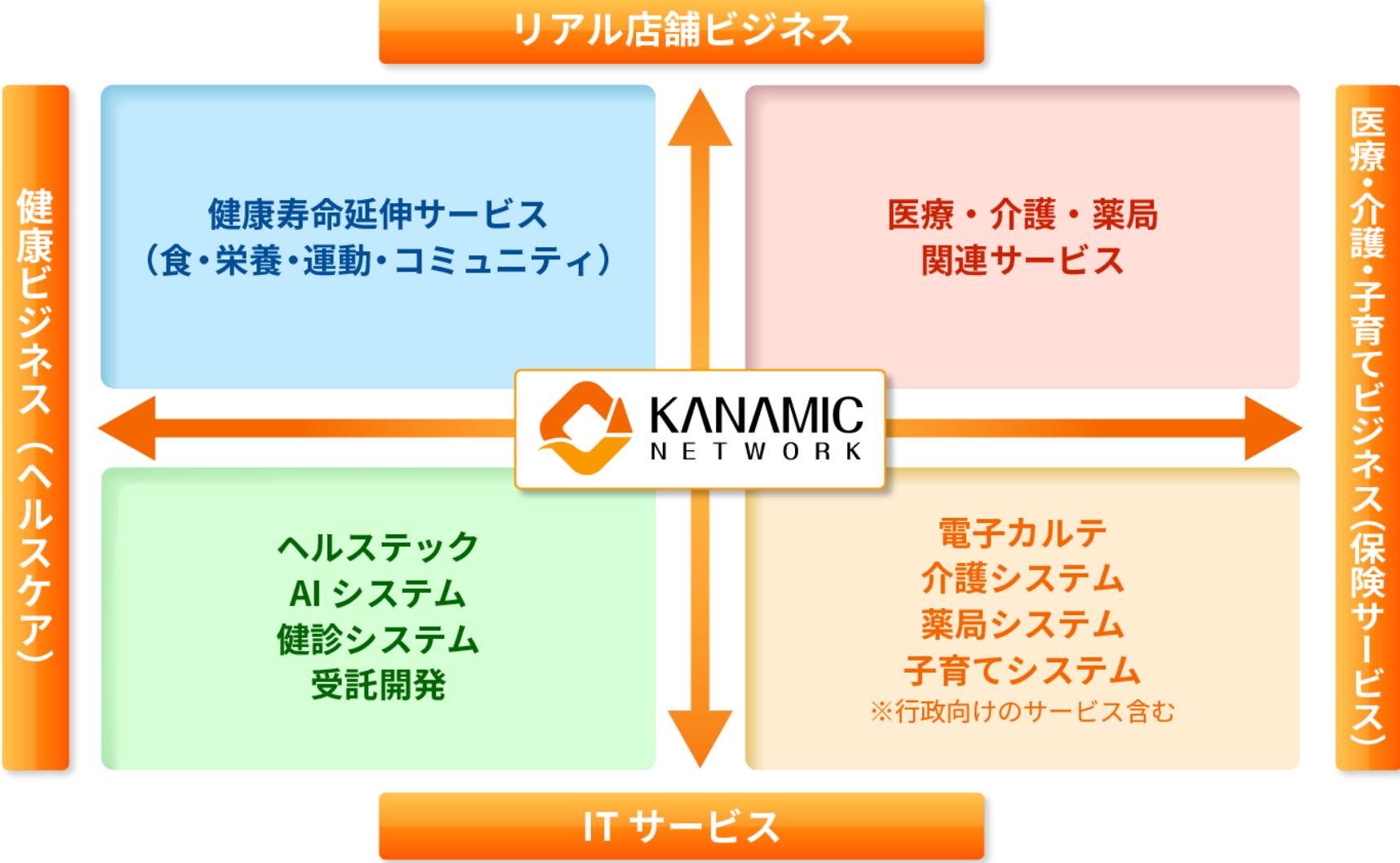
5 東南アジアからの**「医療インバウンド」**や、**「医療・介護人材」**の日本への誘致を加速させる。

6 東南アジアの**スタートアップ企業**が日本で活躍する場面も増加。

3-10. 当社のM&A戦略について

■ 事業コンテンツとしてM&A（資本業務提携を含む）の対象となりうる企業群イメージ

当社ビジョンとシナジーが高い企業と連携することで「カナミックヘルスケアプラットフォーム実現の早期化」を目指します。
データ取得のためのリアル店舗（Brick-and-mortar business）も視野に入れております。



本説明において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements) を含みます。

これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらのリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。